

授業科目	保育所実習 I (2023 年度入学生)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH31604J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	篠木 賢一、池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>講義・演習などの科目で修得した知識や技術を総合的に活用しながら、子どもの発達理解や保育の方法、保育者としての役割の理解など、保育士としての基礎となる総合的な実践力を養うことを本実習の目的とする。また、保育所の役割の概要や子どもの生活、保護者との関わりなどについて、見学・観察、部分参加実習を通して体験的に理解することを目的とする。 なお、実習園では実務家による指導を受ける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.実習を行う保育所の役割や機能について説明できる。 2.実習を行う保育所の1日の流れを理解し、主体的に保育に参加できる。 3.乳幼児とのかかわりを通して、子どもの発達について説明できる。 4.保育課程・指導計画の意義について説明できる。 5.実習を通して保育技術を習得し、実践につなげることができる。 6.子どもの最善の利益を具体化するための取り組みについて説明できる。 7.実習を通して自己の課題を明確にできる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	50	50	100	
知識・理解 (DP1-1)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-2)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5	5	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)					5	5	10	
態度(DP4-1)					5	5	10	
態度(DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-2)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-3)					5	5	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに加え、貴重な現場体験を活かし、子ども観・保育観を深め、かつ実習園から保育士としての資質を認められる評価を得られる。				達成すべき行動目標が実施できるよう努める。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	1. 保育所での事前オリエンテーション 2. 保育所での実習 A) 保育所の1日の生活の流れを理解する B) 子どもの様子を観察する C) 保育士と子どもの関わりの観察 D) 保育課程、指導計画の意味を理解する E) 保育の一部に参加し、保育士の役割を知る F) 子どもの人権、健康管理、衛生・安全管理の理解 3. 実習のまとめ、反省、次回の課題設定	観察・参加実習(10日間)		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育実習指導 1」を受講しており、実習要件を満たしている者			
テキスト	内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』,チャイルド本社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	主体的に実習にかかわる資料の収集を行うこと。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	実習日誌の提出内容や日誌の記述内容、目標・反省の各シート、および実習園からの評価による総合評価を上記の配点にて行う。とりわけ日誌については、記述量が足りなかったり、誤字脱字が多い、保育士からの指導が反映できていないなどが減点の対象となるので、充分留意をすること。実習指導の指導内容が守られなかった場合は、実習中の実習停止もしくは実習が終了している場合でも単位認定ができないことがあります。実習施設からの評価は、その他として成績評価に反映します。			

